

ISSN 0912-778X

穂別町立博物館館報

第21号

平成15（2003）年度版

穂別町立博物館

目 次

●	沿	革	-----	(p . 1)
●	施 設 の 概 要		-----	(p . 4)
●	施 設 平 面 図		-----	(p . 4)
●	展 示 活 動		-----	(p . 5)
●	広 報 活 動		-----	(p . 6)
●	普 及 教 育 活 動		-----	(p . 7)
●	収 蔵 資 料 概 要		-----	(p . 10)
●	資 料 収 集 保 存 活 動		-----	(p . 10)
●	調 査 研 究 活 動		-----	(p . 12)
●	運	営	-----	(p . 15)

● 沿 革

「この博物館は、国の公立社会教育施設整備事業及び北海道市町村振興事業の補助を受け建設されたものである。」

穂別町立博物館は昭和50(1975)年の長頸竜「ホベツアラキリュウ」標本の発見がきっかけとなって建設された。当初は「穂別町郷土資料館」として計画され、建設計画中に「穂別町立博物館」として名称変更された。名称変更後の館活動は「本町で発見される化石(自然史)」の研究・保存・普及と「町の歴史(人文)」の保存・普及を行う二面性を備えた総合博物館としてのものであった。

その後、約10年にわたる博物館活動の結果蓄積された自然史資料の重要性と、人文系資料の保存活動に要する作業量にアンバランスを生じ、活動方針の変更が行われた。その基本活動方針は、「穂別地域で産出する古生物(化石)を材料とし『地球と生命の歴史を考える』総合博物館とする」である。その後現在にいたるが、ここではその経緯を記録し、今後の活動の充実と強化につとめていきたい。

I 「建設の目的」と「展示更新」の基本的考え方

〈穂別町郷土資料館建設の目的〉

(昭和55(1980)年11月26日)

『本町は、クビナガリュウをはじめデスマスチルス、海ガメなど多くの動植物の化石が発見されることから、道内でも特異な地質条件にあることが予想される。こうした自然環境を背景に、先人は寒冷地での生活に耐え抜いて開拓の苦闘に打ち勝って穂別の歴史を展開してきた。穂別町開町70年(町制施行20年)を記念して、本町の地質系統と生物の進化、開拓の足跡を示す歴史資料を収集・保存・展示して、先人がいかに自然との調和を図りながら開拓を進めてきたかを理解し、そして未来を創造するために穂別町郷土資料館を建設するものである。』

〈展示更新の基本的考え方〉

(平成2(1990)年6月27日)

『穂別地域で発見される脊椎動物を始めとするさまざまな化石群が、学術的に貴重なものであることは主張するまでもない。さらに、化石を古生物としてみた場合、学術的な意味を離れても、一般の観覧者にさまざまな示唆を与えてくれるものなのである。』

旧来の博物館と異なり、化石をいわゆる「変・古・珍」として扱わず、「我々人間につながる生き物」として見ることを展示の基本に置く。実物は「穂別地域産」にこだわり、模型は「生きていたときの姿」にこだわる。そして、現在の種々の生き物達の関係と同じく、過去の「古」生物達にも同様の生態系としての関連があったこと、さらに、それらは数十億年も昔から現在にかけて綿々と続く「生命の歴史」の1頁1頁であることを理解させる博物館とする。』

II 沿革

* 本年表において「長頸竜」・「首長竜」・「クビナガリュウ」あるいは「ホベツアラキリュウ」などの使い分けを行っているが、以下に従っている。

- ・「長頸竜」：動物分類上の suborder PLESIOSAURIA の和訳として用いている。「蛇頸竜亜目」または「長頸竜亜目」が正式。
- ・「首長竜」：分類学上の名称としては適切ではないが、この場合「発掘調査団」の固有名称として使用。
- ・「クビナガリュウ」：正式には「蛇頸竜目」または「長頸竜目」あるいはそのカタカナ綴りにするべきであるが、通俗名として普及しているために本の題名として用いられたのであるから、この場合固有名称として使用。
- ・「ホベツアラキリュウ」：昭和52(1977)年7月5～8日に「穂別町首長竜化石発掘調査団」によって発掘された標本の名称。

昭和50(1975)年

6月：穂別町字長和において、脊椎動物化石の入った母岩を発見、一部採集。発見者：荒木新太郎氏（穂別町在住）。

昭和51(1976)年

9月：佐藤昌人指導員（苫小牧青少年センター）・佐藤隆久教諭（穂別町立仁和小学校）、荒木氏発見の化石を長谷川善和主任研究員（国立科学博物館）に鑑定依頼。

昭和52(1977)年

2月：長谷川主任研究員の鑑定結果が新聞で報道。白亜紀海棲爬虫類の鱗の一部と確認。
7月5～8日：「穂別町首長竜化石発掘調査団」結成、発掘調査。後に、この標本を「ホベツアラキリュウ」標本と命名。

昭和53(1978)年

5月：「ホベツアラキリュウ」標本のクリーニング（剖出）作業開始
11月：穂別町立郷土資料館 開館（旧・穂別町立さくら保育所施設利用）

昭和54(1979)年

5月：長頸竜化石骨、穂別町指定文化財第2号に指定

昭和55(1980)年

10月16日：「穂別町郷土資料館建設計画検討委員会」発足

昭和56(1981)年

3月13日：施設の名称を穂別町郷土資料館から穂別町立博物館に変更

昭和56(1981)年

7月～12月：博物館建設工事
9月1日：鈴木 茂学芸員就任（～昭和60年3月31日）

昭和57(1982)年

1月16日：長頸竜復元作業開始
3月～6月：博物館展示工事
7月20日：博物館開館。一般公開開始（初代館長：今幸太郎教育長兼任）
8月26日：「博物館協議会」発足
11月1日：北海道博物館協会加入
12月19日：長頸竜（ホベツアラキリュウ）復元骨格展示公開
12月19日～1月23日：特別展（第1回）「よみがえるクビナガリュウ」

昭和58(1983)年

3月2日：博物館法による登録博物館となる（北博登第28号）
3月28日：「博物館協力会」設立
4月1日：日本博物館協会加入
4月28日：菅原康次（第二代）館長就任
7月22日～8月7日：収蔵資料展（第1回）「地図展」
8月1日：全国科学博物館協議会加入
11月1日～3日：収蔵資料展（第2回）「こけし展」

昭和59(1984)年

2月：村上 隆著「よみがえるクビナガリュウ」発刊
3月27日：「穂別町立博物館研究報告」刊行開始
6月14日：第二展示室（町立博物館保存庫）完成
11月1日～4日：収蔵資料展（第3回）「古い写真・古い文書展」
12月1日：桜庭勝美（第三代）館長就任

昭和60(1985)年

3月30日：「穂別町立博物館館報」刊行開始
5月1日：地徳 力学芸員就任（～平成11年3月31日）
11月1日～10日：特別展（第2回）「北海道一億年」

昭和61(1986)年

10月21日～11月9日：特別展（第3回）「穂別の自然」

昭和62(1987)年

1月1日：今幸太郎（第四代）館長就任（教育長兼任）
7月28日～8月9日：特別展（第4回）「アンモナイトの系図」

昭和63(1988)年

- 7月17日：第三展示室（保存庫）完成
- 8月23日～9月4日：特別展（第5回）「穂別のカメラ化石」
- 10月6日：今 幸太郎（第五代）館長就任（専任）

平成元(1989)年

- 6月30日：仲谷 英夫氏（香川大学助教授）：長頸竜ホベツアラキリュウ標本の記載論文公表
- 7月18日～8月20日：特別展（第6回）「穂別のむかし=写真で見る穂別の歴史=」
- 9月29日～10月6日：学芸員、カナダ・アルバータ州ティーレル古生物学博物館に派遣

平成2(1990)年

- 7月23日：ドラムヘラー市長夫妻（カナダ、アルバータ州）来館
- 8月18日～9月16日：特別展（第7回）「戦争と穂別」
- 9月3日～5日：レイド、M. G. 氏（アルバータ州ティーレル古生物学博物館）来館
- 12月31日：野田藤雄（第六代）館長就任（教育長兼任）

平成3(1991)年

- 4月1日：佐藤 稔（第七代）館長就任
- 4月28日、29日：入館者10万人突破記念事業

平成4(1992)年

- 2月1日：展示更新工事開始
- 4月23日～25日：カリ、P. J. 氏（アルバータ州ティーレル古生物学博物館）来館
- 4月29日：展示更新完了、一般公開再開

平成6(1994)年

- 4月1日：野田藤雄（第八代）館長就任（教育長兼任）
- 4月1日：川上 源太郎学芸員就任（～平成10年3月31日）

平成7(1995)年

- 7月15日～9月12日：学芸員、カナダ・アルバータ州ティーレル古生物学博物館に派遣、研修。
- 8月12日：かせき学習館完成

平成8(1996)年

- 7月27日～28日：'96北海道化石サミット開催（穂別町民センター）
- 10月6日：大江美津夫（第九代）館長就任

平成9(1997)年

- 7月6日、7月10日～8月31日：クビナガリュウ発掘20周年記念事業パネル展（第8回特別展）

平成10(1998)年

- 4月1日：櫻井和彦学芸員就任（現任）
- 6月11日：星 功（第十代）館長就任
- 8月11日～8月31日：特別展（第9回）「地球物語り（地質学普及書の近代史）」

平成11(1999)年

- 1月1日：山田 正（第十一代）館長就任
- 5月29日：入館者30万人突破記念事業
- 8月1日～8月31日：特別展（第10回）「滄龍の泳いだ海-7000万年前の穂別-」
- 10月5日～11月28日：特別展（第11回）「穂別の自然」

平成12(2000)年

- 8月1日～8月31日、9月14日～10月1日：特別展（第12回）「穂別の石-川原の石から見た穂別」
- 9月14日～10月1日：日胆地区博物館等連絡協議会主催移動展「日高・胆振の博物館紹介」

平成13(2001)年

- 8月1日～8月25日：特別展（第13回）「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」

平成14(2002)年

- 4月28日～5月17日：特別展（第14回）「ツノのある奇妙なカメ～海の穂別からリクガメ化石の発見～」
- 7月1日～21日：特別展（第15回）「穂別町立博物館の20年-クビナガリュウとともに-」（再公開）
- 7月20日：開館20周年記念講演・討論会「化石の里（まち）の博物館」
- 7月27日～8月9日：博物館協力会企画展「穂別の化石」
- 8月31日～9月27日：特別展（第16回）「穂別のカメラ化石-恐竜時代のウミガメとリクガメ」

平成15(2003)年

- 1月1日：清川博之（第十二代）館長就任（現任）
- 7月20日～8月31日：特別展（第17回）「穂別を泳いだモササウルス」
- 11月1日～1月31日：特別展（第18回）「虫とくらし」（協力：北海道開拓記念館）

●施設の概要

【位 置】

北海道勇払郡穂別町字穂別80番地の6

【穂別町立博物館】

[構造規模]

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：1,100m²

常設展示室	372.88m ²
特別展示室	99.08m ²
収 蔵 庫	86.56m ²
事 務 室	40.50m ²
研 究 室	31.50m ²
整 理 室	29.92m ²
学 習 展 示 室	184.75m ²
書 庫	35.05m ²
共 用 部 門	219.76m ²

[工 期]

昭和56年度～57年度

[総事業費]

3億6,216万5,000円

[展示更新]

平成3年度～平成4年度：博物館展示替え工事

平成5年度：マルチスライド、イメージソフト制作

[更新事業費]

平成3年度～4年度：99,910,000円（内消費税2,910,000円）

平成5年度：6,890,700円（内消費税 200,700円）

【かせき学習館】

[構造規模]

建築構造：鉄筋コンクリート平屋建

建築面積：325.89m²

事 務 室	56.70m ²
作 業 室	56.70m ²
書 庫	14.04m ²
レ プ リ カ 室	12.15m ²
処 理 室	12.15m ²
展 示 物 保 管 庫	162.00m ²
共 用 部 門	12.15m ²

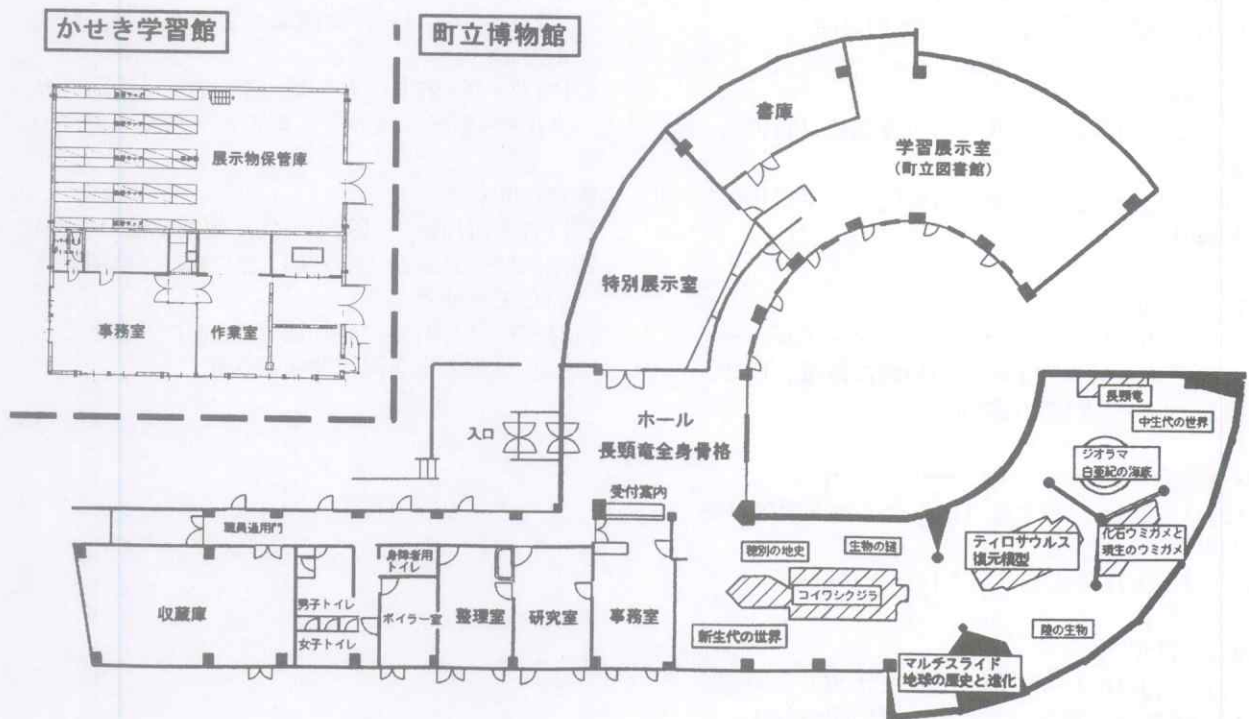
[工 期]

平成7年度

[総事業費]

5,709万2,900円（消費税込み）

●施設平面図



●展示活動

I 常設展示

穂別町内から産出した動物化石を中心に、地質・化石資料やその復元模型を展示している。

【常設展示の変更】

平成15(2003)年6月15日：現生クジラ頸椎(2002-023)を追加

【常設展示資料】

種別	分類		点数	計
化石	脊椎動物	魚類	7	242
		爬虫類(長頸竜10*・モササウルス8*・カメ6・他3)	27	
		哺乳類(クジラ8・デスモスチルス2・他9*)	19	
	その他動物	軟体動物(頭足類89・腹足類30・斧足類38・他4)	167	
		その他(甲殻類7・その他9)	16	
	植物	4		
	生痕	2		
現生生物	脊椎動物	爬虫類(カメ)	3	12
		哺乳類(クジラ5・鱈脚類1)	6	
	その他動物	軟体動物(頭足類)1・甲殻類1	2	
	植物	1		
復元模型	脊椎動物	爬虫類(長頸竜1・モササウルス1・カメ1)	3	3
その他	岩石標本等		21	21
合計				278

*：レプリカ含む

(2004年3月31日現在)

II 特別展示

【穂別を泳いだモササウルス】平成15(2003)年7月20日～8月31日

穂別町に特徴的な中生代白亜紀の海生爬虫類のうち、他地域と比較して特に数多く産出しているモササウルスについて紹介し、当時の穂別町についての理解を深めてもらう。

開催期間中、特別展会場(特展室)にて、モササウルスの歯のレプリカ作成体験を実施。

【虫とくらし】(協力：北海道開拓記念館)平成15(2003)年11月1日～平成16(2004)年1月31日

北海道開拓記念館との共催事業の一環。同館にて平成14年度に公開された第134回テーマ展の展示資料や解説パネルを借用し、我々日本人の生活と虫との関わりについて紹介した。

III 年間入館者数

分類		平成11年度 (1999)	平成12年度 (2000)	平成13年度 (2001)	平成14年度 (2002)	平成15年度 (2003)
個人	一般	8,591	11,281	9,911	10,355	8,300
	学生	3,190	4,278	3,832	4,367	3,740
団体	一般	785	1,112	1,143	877	781
	学生	2,306	2,221	2,403	1,348	679
計		14,872	18,892	17,289	16,947	13,500

学生：小・中・高校生、団体：10名以上 (単位：人)

● 広報活動

【ホッピーだより (博物館広報紙)】

- 221号<平成15(2003)年4月>:「寄贈資料と採集資料の紹介」
- 222号<平成15(2003)年5月>:「新メンバーの紹介」
- 223号<平成15(2003)年6月>:「ほべつ道民の森でウォッチングしませんか・ホッピー探検隊2003のお知らせ」
- 224号<平成15(2003)年7月>:「穂別の自然に大満足!!・穂別を泳いだモササウルス」
- 225号<平成15(2003)年8月>:「特別展開催中・火星が6万年ぶりの大接近!」
- 226号<平成15(2003)年9月>:「いろいろな虫がとれたよ!・特別展おわる」
- 227号<平成15(2003)年10月>:「特別展『虫とくらし』・化石クリーニングとレプリカづくり」
- 228号<平成15(2003)年11月>:「65種類のきのこがありました!・特別展『虫とくらし』」
- 229号<平成15(2003)年12月>:「特別展『虫とくらし』開催中・広がる化石を知る活動」
- 230号<平成16(2004)年1月>:「ウミガメ化石発見!!・冬の星座観察会のお知らせ」
- 231号<平成16(2004)年2月>:「マイミュージアム<特別展示室開放事業>・特別展『虫とくらし』終了!」
- 232号<平成16(2004)年3月>:「ホッピー化石アドベンチャー・マイミュージアムがスタート」

【町内学校等機関紙】

- 穂別高等学校機関紙「イーハトーブ」
No. 29<平成15年(2003)年10月>:「穂別町に温泉があるわけ-樹海温泉はくあのひみつ」

【博物館協会等機関紙】

- 日胆地区博物館等連絡協議会ニュース
第13号<平成15(2003)年5月>:ホッピーだよりNo. 218・No. 220・No. 222の紹介
第14号<平成15(2003)年10月>:「近ごろ思うこと...光陰矢のごとし」

【新聞掲載】

- 北海道新聞苫小牧圏「とまにち博物誌」
平成15(2003)年7月16日:「穂別が語る地球史-一億年前は海の底・多様な生物が存在」
平成15(2003)年9月10日:「穂別を泳いだモササウルス-大きな口に鋭い歯・道中央部の海制す」
平成15(2003)年11月12日:「『虫』テーマに特別展-生活とのかかわり・各種資料通じ紹介」
平成16(2004)年1月21日:「ウミガメ化石の発見-7千万年前の穂別・生息には好環境?」
平成16(2004)年3月17日:「胆振の火山-随所に噴火の痕跡・人間生活に恩恵も」

●普及教育活動

※利用者の区分は以下の通り

小：小学校・中学校・高校生

大：大人

I 博物館事業（博物館の主催・共催事業）

平成15(2003)年6月21日

「ホッピー探検隊2003」：自然観察と化石採集
(小4、大4)

平成15(2003)年8月5日

ほべつの森の観察会「夏の虫」：ほべつ道民の
森で昆虫観察(小21、大3)

平成15(2003)年9月28日

ほべつの森の観察会「きのこウォッチング」：
ほべつ道民の森でキノコ観察(小8、大15)

平成15(2003)年10月11日

「化石クリーニングとレプリカづくり」：
(小14、大3)

平成16(2004)年2月7日～3月5日

特別展示室開放事業<マイ・ミュージアム>
「第1回 ミニ植物写真展・笠巻コレクション」
(小34、大71)

平成16(2004)年2月28日

「冬の星座観察会」：講師による講話と星座早
見盤の作成(小8、大4)

II 町外で実施した事業

平成15(2003)年8月31日

「日高山脈ネイチャーセミナー -化石をさが
そう-」(占冠村)：化石採集(参加者：29)

III 町内団体の利用と対応

対応したものは「」で内容を示してある。

特に表記のないものは案内の伴わない展示見学。

【町内学校・教育関係団体】

平成15(2003)年4月：

1日：さくら保育園(園児11、大1)

10日：さくら保育園(園児9、大1)

平成15(2003)年5月：

23日：仁和中学校1年「問い合わせ対応」

(小1；総合学習)

23日：転入教職員町内研修「展示見学」(大21)

23日：和泉小学校「展示見学」(小15、大6)

28日：穂別中学校「展示見学」(小1、大1)

平成15(2003)年6月：

13日：仁和中学校「講演・展示見学」(小10、
大4；総合学習)

17日：穂星寮1年生町内バス見学会(小27、
大3)

17日：穂別高校「レプリカ作成・展示見学」
(小16、大1)

26日：町教研理科サークル「講演」(大6)

平成15(2003)年7月：

4日：仁和中学校「化石採集」(小5、大2；総
合学習)

8日：穂別高校「化石クリーニング」(小17、
大2；テーマ学習)

15日：穂別小学校「化石採集」(小8、大5)

16日：穂別小学校(小2、大1)

19日：富内へき地保育所(園児11、大4)

平成15(2003)年9月：

9日：穂別高校「図書参照」(小19；テーマ
学習)

18日：町教研理科サークル「化石採集」(大9)

25日：さくら保育園(園児46、大4)

30日：さくら保育園(園児8、大1)

平成15(2003)年10月：

9日：穂別高校「化石採集」(小49、大2；
理科)

11日：さくら保育園(園児17、大1)

16日：穂別高校1年生「化石クリーニング」
(小1)

22-23日：穂別高校インターンシップ事業受入
「博物館業務の体験」(小1)

平成15(2003)年11月：

22日：穂別小学校「化石クリーニング」(小2)

27日：穂別小学校2年生「展示見学・質問」

(小8,大1;生活科)

平成16(2004)年1月:

20日：仁和中学校(小1,大1)

平成16(2004)年2月:

4日：さくら保育園(園児9,大1)

13日：和泉小学校3,4年生「人文資料収蔵
庫見学」(小5,大2;社会科)

25日：穂別小学校(大2)

平成16(2004)年3月

2日：仁和小学校3・4年生「展示見学」

(小14,大1;社会科)

【町内各種団体】

平成15(2003)年5月:

20日：農業委員会農業就業体験者受入(大2)

平成15(2003)年6月:

13日：農林商工課中国人農業研修生町内視察
研修(大4)

13日：農業委員会農業就業体験者受入(大3)

27日：農業委員会農業就業体験者受入(大2)

平成15(2003)年7月:

4日：農業委員会農業就業体験者受入(大2)

平成16(2004)年3月:

3日：地球体験館新人サイエンスガイド研修
「展示見学」(大3)

IV 町外団体の利用と対応

対応したものは「」で内容を示してある。
特に表記のないものは案内の伴わない展示見学。

【町外学校・教育関係団体】

平成15(2003)年4月:

17日：北海道自由ヶ丘学園(小3,大2)

27日：占冠村立占冠小学校「下見」(大2)

平成15(2003)年5月:

15日：占冠村立占冠小学校(小7,大1)

平成15(2003)年6月:

3日：倶知安町公民館講座「展示見学」(大48)

6日：日胆地区博物館等連絡協議会(大18)

17日：北海道長沼高校(小98,大6)

18日：札幌市立新光小学校(小117,大10)

20日：北海道開拓記念館(大2)

25日：宮城県仙台西高校「下見」(大1)

平成15(2003)年7月:

3日：胆振管内高等学校初任者研修地域研修
「展示見学」(大7)

4日：芽室町社会教育委員(大13)

8日：胆振教育局指導主幹他(大2)

30日：千歳市立北陽小学校「下見」(大3)

平成15(2003)年8月:

1日：6区子供会(小9,大9)

1日：進学会(小67)

3日：芽室町どんぐり会(小6,大15)

7日：大町子供会(小16,大4)

8日：宮城県仙台3高校合同巡検「展示見学」
(小12,大3)

8日：門別町緑ヶ丘季節保育所(園児5,大2)

26日：東海大学(小7,大10)

27日：千歳市立北陽小学校(小89,大8)

平成15(2003)年9月:

3日：門別町立豊郷小学校「展示見学」
(小11,大5)

19日：北海道函館盲学校(小4,大5)

19日：鶴川町立春日小学校(小9,大5)

30日：白老町高齢者大学(大139)

平成15(2003)年10月:

9日：中頓別町教育委員会(大12)

16日：北海道手をつなぐ育成会(小7,大26)

22日：日高町立日高小学校(小12,大3)

26日：追分町公民館講座「展示見学・化石採
集」(大10)

平成15(2003)年11月：

- 19日：富川ひばり幼稚園（園児57, 大3）
- 20日：富川ひばり幼稚園（園児46, 大4）
- 21日：富川ひばり幼稚園（園児29, 大3）
- 21日：足寄町教育委員会「視察・展示見学」
（大7）

平成15(2003)年12月：

- 6日：穂星寮町外者バス見学会「展示見学」
（小4, 大4）

平成16(2004)年3月：

- 21日：ハリーポッターパーティー実行委員会
（大5；道内AET他）

平成16(2004)年2月：

- 7-8日：千歳化石会「化石クリーニング研修」
（大2）

【町外各種団体】

平成15(2003)年5月：

- 13日：高砂会（大23）
- 23日：明治コンサルタント株式会社「展示見
学」（大10）

平成15(2003)年6月：

- 17日：日本道路公団千歳工事事務所（大7）
- 24日：日本道路公団千歳工事事務所「展示見
学」（大2）

平成15(2003)年7月：

- 16日：今金町役場（大14）
- 17日：日本道路公団千歳工事事務所（大2）
- 22日：寿楽会（大14）
- 23日：当麻町農業高齢者能力活用推進協議会
（大28）
- 27日：苫小牧市若草町内会（大32）
- 27日：信州花空間（小21, 大37）

平成15(2003)年8月：

- 1日：スポーツZ I P（小67, 大9）
- 7日：札幌市北野少年消防クラブ（小28,
大6）
- 8日：道南バス株式会社バスガイド実習
（大13）
- 28日：追分町リハビリ教室（大19）

平成15(2003)年9月：

- 20日：瀬棚町官公署団体連絡協議会（大10）
- 25日：石狩市役所（大15）

平成15(2003)年10月：

- 5日：室蘭商工会議所第三ブロック（小1,
大28）

平成15(2003)年12月：

- 2日：日本道路公団北海道支社長他「展示見
学」（大3）

● 収蔵資料概要 (登録資料)

【自然史系登録資料 (HMG)】 1,079点
 地質・化石資料
 【自然系登録資料 (HMB)】 88点
 現生動物植物資料

【人文系登録資料 (HMC)】 3,727点
 民俗・歴史資料

(2004. 3. 31. 現在)

● 資料収集保存活動

I 寄 贈

(敬称略)

【自然史系資料】 14件

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2003-002	ウミガメ化石	1	堀田良幸
2003-003	脊椎動物化石	1	堀田良幸
2003-004	脊椎動物化石	1	堀田良幸
2003-007	スナモグリ?	1	千歳化石会
2003-024	化石含有ノジュール	58	博物館協力会
2003-025	化石含有ノジュール	7	博物館協力会
2003-034	化石含有ノジュール	34	荒木 新太郎
2003-035	アンモナイト顎器	1	荒木 新太郎
2003-053	化石含有ノジュール	21	荒木 新太郎
2003-055	化石含有ノジュール	1	狐塚 守
2003-057	化石含有ノジュール	3	渋谷 紀己
2003-063	アンモナイト	2	鳴海博一
2003-075	イノセラムスほか	2	狐塚 守
2003-076	アンモナイト含有岩石	1	山岡隆子

【自然系資料】 4件

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2003-017	動物標本	1	地球体験館
2003-049	蜂の巣 (現生)	1	小林 繁
2003-074	蜂の巣 (現生)	1	谷口 弘
2003-077	動物標本	1	山田 正

【人文系資料】 7件

受入番号	寄贈資料	点数	寄贈者名
2003-001	大工道具	76	山田 正
2003-005	折り畳みナイフ	1	山田 正
2003-010	オートバイ	1	渡辺幸美
2003-012	湯沸かし	1	渡辺幸美
2003-013	桎割用ナタ	1	渡辺幸美
2003-020	船箆筥	2	小林教美
2003-022	湯沸かし	1	小林教美

II 採 集

【自然史系資料】 44件

受入番号	資料名	点数
2003-008	岩石標本	1
2003-009	アンモナイト含有ノジュール	1
2003-014	アンモナイト含有ノジュール	1

2003-015	イノセラムス	1
2003-016	アンモナイト含有ノジュール	1
2003-023	貝化石含有岩塊	9
2003-026	アンモナイトほか含有ノジュール	26
2003-027	貝化石含有岩塊	1
2003-028	岩石標本	1
2003-029	アンモナイトほか含有ノジュール	10
2003-030	アンモナイトほか含有ノジュール	15
2003-031	岩石標本	1
2003-032	アンモナイトほか含有ノジュール	15
2003-033	アンモナイトほか含有ノジュール	5
2003-036	アンモナイトほか含有ノジュール	9
2003-037	アンモナイトほか含有ノジュール	9
2003-038	貝化石含有ノジュール	3
2003-039	アンモナイトほか含有ノジュール	11
2003-040	アンモナイトほか含有ノジュール	6
2003-041	アンモナイトほか含有ノジュール	6
2003-042	アンモナイトほか含有ノジュール	5
2003-043	アンモナイトほか含有ノジュール	2
2003-044	貝化石含有ノジュール	2
2003-045	化石含有ノジュール	9
2003-046	化石含有ノジュール	6
2003-047	化石含有ノジュール	1
2003-050	アンモナイトほか含有ノジュール	3
2003-051	アンモナイトほか含有ノジュール	12
2003-054	化石含有ノジュール	7
2003-056	化石含有ノジュール	31
2003-058	イノセラムス含有ノジュール	1
2003-059	イノセラムス含有ノジュール	1
2003-060	イノセラムス含有ノジュール	1
2003-061	貝化石含ノジュール	1
2003-062	イノセラムス含有ノジュール	1
2003-064	貝化石含ノジュール	2
2003-065	イノセラムス含有ノジュール	1
2003-066	イノセラムス含有ノジュール	3
2003-067	イノセラムス化石	1
2003-068	貝化石含有ノジュール	3
2003-069	化石含有ノジュール	9
2003-070	化石含有ノジュール	1
2003-071	珪化木	2
2003-072	アンモナイト	1
2003-073	アンモナイト	1

【自然系資料】 2件

受入番号	資料名	点数
2003-006	現生動物標本	1
2003-011	現生動物標本	1

【人文系資料】 0件

Ⅲ 野外調査活動

Ⅴ 資料の貸出

【現地調査】 31回

4月：9、11、13日
 5月：3、9、23日
 6月：5、11、25日
 7月：1、5、12、18、23、25、29日
 8月：1、5、13、14、20、26日
 9月：5、9、12日
 10月：19日
 11月：7、13、14、22、28日
 内訳：

資料収集26回（うち、博物館協力会と合同調査：
 10回・千歳化石会と合同調査：2回）
 普及事業事前調査5回

Ⅳ 新規登録資料

【自然史系資料 (HMG)】 7件

登録番号	資料名	受入番号等
HMG-1073	ホベツモササウルス右前肢レプリカ	HMG-12のレプリカ
HMG-1074	北米産ティロサウルス頭骨レプリカ	2003-19
HMG-1075	モササウルス類（尾椎骨）	1985-011
HMG-1076	モササウルス類（尾椎骨）	1994-003
HMG-1077	モササウルス類（頭骨の一部ほか）	1997-031
HMG-1078	ウミガメ類（背甲・腹甲の一部）	2003-002
HMG-1079	長頸竜ポリコティラス類（間鎖骨ほか）	1981-062

【自然系資料 (HMB)】 10件

登録番号	資料名	受入番号等
HMB-79	タイマイ	組立骨格
HMB-80	マタマタ	組立骨格
HMB-81	キクイタダキ	組立骨格
HMB-82	オオタカ	組立骨格
HMB-83	ノスリ	組立骨格
HMB-84	カケス	組立骨格
HMB-85	ツツドリ	組立骨格
HMB-86	ツグミ	組立骨格
HMB-87	エゾリス	組立骨格
HMB-88	ヒメウミガメ（背甲）	1997-039

平成8(1996)年5月11日～平成16(2004)年3月31日

ウミガメ化石（計3点）：帝京平成大学 平山 廉博士

平成8(1996)年8月1日～平成16(2004)年3月31日

ウミガメ化石（計5点）：帝京平成大学 平山 廉博士

平成9(1997)年4月1日～平成16(2004)年3月31日

アンモナイト・イノセラムス（計2点）：穂別地球体験館

平成9(1997)年4月1日～平成16(2004)年3月31日

自然系資料（剥製、計20点）：穂別町立穂別小学校

平成9(1997)年6月27日～平成16(2004)年3月31日

アンモナイト化石（2点）：工業技術院地質調査所地質標本館 利光誠一博士

平成15(2003)年6月20日～8月23日

ホベツモササウルスレプリカ・北米産モササウルス頭骨レプリカ・イノセラムス（計3点）：北海道開拓記念館

平成15(2003)年11月1日～11月3日

軍帽・軍服（計2点）：ほべつ穂吟会

I 脊椎動物化石の研究

【総論】

鈴木 茂(林原自然科学博物館学芸員, 穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演:

[1984] 穂別町立博物館研究報告[1]、47-52。

地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演:

[1990] 穂別町立博物館研究報告[6]、37-35。

[1993] 日本地質学会第100年学術大会(東京)夜間小集会口頭発表

[1994] 日本地質学会第101年学術大会(札幌)一般発表

[1994] 日本地質学会第101年学術大会(札幌)夜間小集会口頭発表

【デスモスチルス】

木村方一(北海道教育大学)教授に研究委託

公表論文・講演:

[1984] 穂別町立博物館研究報告[1]、11-23。

[1984] 地学団体研究会専報[28]、51-61。(松井 愈・山口昇一 共著)

[1985] 穂別町立博物館研究報告[2]、51-62。

赤松守雄(北海道開拓記念館)学芸員に研究委託

公表論文・講演:

[1984] 地団研専報[28]、63-68。

【クジラ】

木村方一(北海道教育大学)教授に研究委託

一島啓人(オタゴ大学大学院)氏に研究委託

公表論文・講演:

[1992] 穂別町立博物館研究報告[9]、37-44。

[1994] The Island Arc[3]、473-485。

[1994] The island Arc[3]、486-492。

【ウミガメ】

平山 廉(帝京平成大学)助教授に研究委託

公表論文・講演:

[1985] 穂別町立博物館研究報告[2]、17-30。(鈴木 茂 共著)

[1992] 穂別町立博物館研究報告[8]、17-57。

[1992] 日本地質学会第99年学術大会(熊本)口頭発表

[1994] 地学団体研究会専報[43]、17-24。(地徳 力 共著)

[1994] The Island Arc[43]、270-284。

[1994] 日本地質学会第101年学術大会(札幌)口頭発表

[1994] 日本地質学会第101年学術大会(札幌)夜間小集会口頭発表

[1995] 日本地質学会第102年学術大会(広島)口頭発表

[1996] 日本古生物学会報告・紀事[184]、597-622。(地徳 力 共著)

【リクガメ】

平山 廉(帝京平成大学)助教授に研究委託

公表論文・講演:

[1998] 穂別町立博物館研究報告[14]、1-6。(紀藤典夫・川上源太郎 共著)

[1998] 日本古生物学会例会(札幌)口頭発表

[2001] Russian Journal of Herpetology[8]、127-138。(櫻井和彦・地徳 力・川上 源太郎・紀藤典夫 共著)

【長頸竜】

仲谷英夫(香川大学)助教授に研究委託

公表論文・講演:

[1981] 日本地質学会第88年学術大会(東京)口頭発表

[1982] 日本地質学会第89年学術大会(新潟)口頭発表

[1982] 動物と自然、[12]、11-16。

[1984] 穂別町立博物館研究報告[1]、37-40。

[1985] 穂別町立博物館研究報告[2]、43-49。

[1989] 穂別町立博物館研究報告[5]、43-48。

[1989] 日本古生物学会報告・紀事[154]、96-116。

【モササウルス】

鈴木 茂(林原自然科学博物館学芸員, 穂別町立博物館元学芸員)氏が研究

公表論文・講演:

[1985] 穂別町立博物館研究報告[2]、31-42。

[1985] 地学団体研究会専報[30]、45-66。

地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)が別資料の研究継続

公表論文・講演：

- [1987] 日本地質学会第94年学術大会(大阪)口頭発表
- [1990] 日本地質学会第97年学術大会(富山)口頭発表
- [1990] 日本地質学会北海道支部報[1]、45-46。
- [1991] 穂別町立博物館研究報告[7]、9-14。(紀藤典夫 共著)
- [1994] 穂別町立博物館研究報告[10]、39-54。

櫻井和彦(穂別町立博物館学芸員)が別資料の研究継続

公表論文・講演：

- [1999] 日本地質学会北海道支部1998年度総会・例会(札幌)口頭発表
- [1999] 穂別町立博物館研究報告[15]、53-66。(地徳 力・渋谷直憲 共著)
- [1999] 日本地質学会第106年年会(名古屋)口頭発表

【サ メ】

久家直之(ジオサイエンス株式会社)に研究委託

公表論文・講演：

- [1985] 穂別町立博物館研究報告[1]、33-36。

【翼 竜】(遠別町産)

地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演：

- [1994] 日本地質学会北海道支部総会講演
- [1996] 穂別町立博物館研究報告[12]、17-22。

II その他の研究

【穂別の地質】

川上 源太郎(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演：

- [1995] 穂別町立博物館研究報告[11]、17-28。
- [1997] 穂別町立博物館研究報告[13]、27-42。

【理科教育】

櫻井和彦(穂別町立博物館学芸員)・地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演：

- [1998] 日本地質学会第105年年会(松本)口頭発表

櫻井和彦(穂別町立博物館学芸員)

公表論文・講演：

- [2000] 日本地質学会第107年年会(島根)ポスター発表(共同発表)

- [2001] 日本地質学会北海道支部2000年度総会・例会(札幌)口頭発表

- [2002] 日本地質学会第109年年会(新潟)ポスター発表

- [2003] 穂別町立博物館研究報告[18]、1-20。

- [2003] 穂別町立博物館研究報告[18]、21-32。(共著)

【博物館活動】

地徳 力(穂別町立博物館元学芸員)

公表論文・講演：

- [1989] 穂別町立博物館研究報告[5]、33-42。

- [1995] 穂別町立博物館研究報告[11]、29-36。

- [1995] 穂別町立博物館研究報告[11]、37-46。

櫻井和彦(穂別町立博物館学芸員)

公表論文・講演：

- [2000] 穂別町立博物館研究報告[16]、9-28。

- [2000] 穂別町立博物館研究報告[16]、29-40。

III 刊 行 物

【穂別町立博物館研究報告】

第19号、44頁：平成16(2004)年3月1日発行

<掲載論文>

穂別町立博物館20周年実行委員会：穂別町立博物館20周年記念事業の記録、p. 1-44

【穂別町立博物館館報】

第20号、17頁：平成15(2003)年6月発行

IV 学会・大会・研修会等への参加

【学会・研修会等】

[日本地質学会]

平成15(2003)年9月19日～21日：

日本地質学会第110年年会・学術大会（静岡市）

【博物館協会等の大会・研修会等】

[北海道博物館協会]

平成15(2003)年9月11日～12日：

北海道博物館協会学芸職員部会 総会・研修会(根室市)：欠席

平成15(2003)年7月10日～11日：

第42回北海道博物館大会（枝幸町）：欠席

平成15(2003)年10月23日～24日：

ミュージアム・マネジメント研修会（小樽市）

[日胆地区博物館等連絡協議会]

平成15(2003)年6月6日：

日胆博協 総会（穂別町）

平成15(2003)年10月4日～5日：

日胆博協 博物館職員研修（伊達市）：欠席

平成16(2004)年1月27日：

日胆博協 役員会・館長等会議（門別町）

V 協力団体との連携

【穂別町立博物館協力会】

平成15(2003)年5月：

11日：穂別町立博物館協力会 役員会

20日：穂別町立博物館協力会 総会

平成15(2003)年6月：

18日：学習用地整備（水洗）

平成15(2003)年7月：

16-19日：学習用地整備（外周など）

18日：高速道工事現場 合同調査

23日：高速道工事現場 合同調査

25日：高速道工事現場 合同調査

29日：高速道工事現場 合同調査

平成15(2003)年8月：

1日：高速道工事現場 合同調査

5日：高速道工事現場 合同調査

20日：高速道工事現場 合同調査

26日：高速道工事現場 合同調査

平成15(2003)年9月：

9日：高速道工事現場 合同調査

平成15(2003)年9月：

19日：合同調査（穂別町内）

平成15(2003)年12月：

14日：高速道工事現場調査 打合わせ

平成16(2004)年2月：

28日：星座観察会 運営協力

【千歳化石会】

平成15(2003)年4月：

13日：合同調査（穂別町内）

平成15(2003)年5月：

3日：合同調査（穂別町内）

平成15(2003)年11月：

23日：千歳化石会 総会（千歳市）

平成15(2003)年12月：

14日：高速道工事現場調査 打合わせ

平成16(2004)年2月：

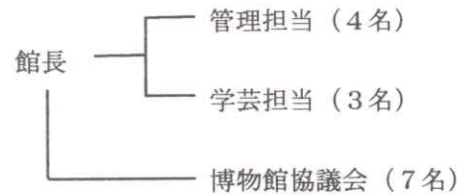
7-8日：研修会（かせき学習館）

●運 営

I 行事等

- 平成15(2003)年5月：
 26日：高速道建設工事現場現地視察に同行
- 平成15(2003)年6月：
 6日：日胆地区博物館等連絡協議会 総会（穂別町立博物館 特別展示室）
 20日：北海道開拓記念館に収蔵資料の貸出
 20日：旧中村邸復元活用検討会議
 24日：高速道工事調査に関する打合わせ（日本道路公団千歳工事事務所三井工事長ほか）
 27日：北海道開拓記念館特別展開会式出席（札幌）
- 平成15(2003)年7月：
 11日：千歳工事事務所三井工事長と打合わせ
 15日：平成15年度第1回博物館協議会
- 平成15(2003)年8月：
 21日：北海道開拓記念館より収蔵資料の返却
- 平成15(2003)年10月：
 7日：特別展に伴う打合わせ（北海道開拓記念館）
 8日：展示室マルチスライド機器調整（9/26発生の十勝沖地震による影響）
 21日：北海道開拓記念館より資料借用・運送
- 平成15(2003)年11月：
 19日：旧中村邸活用検討会議
- 平成15(2003)年12月：
 14日：高速道工事現場調査 打合わせ（博物館・博物館協力会・千歳化石会）
 16日：新年度特別展に向けた内容協議（北海道開拓記念館）
- 平成16(2004)年1月：
 22日：旧中村邸復元活用調整会議
 29日：旧中村邸復元活用調整会議
- 平成16(2004)年2月：
 4日：北海道開拓記念館に借用資料の返却
 19日：穂別高校開放講座「ビートルズの夕べ」（特別展示室にて）
- 平成16(2004)年3月：
 4日：平山助教授よりメソダーモケリスの和名「イシザキムカシオサガメ」の提唱
 17-19日：新年度特別展打合わせ（足寄動物化石博物館）

II 組 織



博物館協議会委員(平成16(2004)年3月31日現在)

会 長 北 倉 了 一
 副会長 窪 田 敬 一
 委 員 小石川 武 美
 委 員 荒 木 新太郎
 委 員 大久保 玲 子
 委 員 内 海 由起江
 委 員 佐 藤 稔

(任期：平成16(2004)年7月31日まで)

職員名簿(平成16(2004)年3月31日現在)

館 長	清 川 博 之
〈管理担当職員〉	
主 幹	中 井 学
臨時職員(受付)	芥 川 紀 子
臨時職員(受付)	深 谷 文 子
臨時職員(清掃)	多 村 こゆる
〈学芸担当職員〉	
学芸員	櫻 井 和 彦
生涯学習推進アドバイザー	村 上 隆
臨時職員(補助員)	高 橋 義 道

Ⅲ 利用状況

【常設展示観覧者】

平成15(2003)年4月～平成16(2004)年3月

月	一般	学生	計	開館日
4	704	280	984	26
5	1,543	659	2,202	25
6	667	409	1,076	25
7	1,244	612	1,856	31
8	2,510	1,542	4,052	31
9	872	305	1,177	23
10	653	212	865	25
11	458	191	649	24
12	48	14	62	24
1	43	21	64	21
2	63	17	80	23
3	276	157	433	25
計	9,081	4,419	13,500	303

(単位：人・日)

【博物館特定入館日】

＜国際博物館の日＞

国際博物館会議（イコム、ICOM）のモスクワ大会（1977年）にて制定され、日本では平成14年度から日本博物館協会とイコム日本委員会が協力して記念事業が展開されることとなった「国際博物館の日」（5月18日）の趣旨に賛同し、当日を町民無料入館の日とした。

＜博物館開館記念日関連事業＞

7月20日の開館記念日に関連して、平成15(2003)年7月19日(土)～7月25日(金)を町民無料観覧の日とした。

[博物館特定入館日に伴う町民無料入館]

実施日	行事名	一般	学生	計
5.18	国際博物館の日	11	2	13
7.19～25	博物館開館記念日(7日間)	19	12	31
9.15	敬老の日	10	7	17
11.3	文化の日	7	2	9
11.23	勤労感謝の日	2	1	3
'04.1.12	成人の日	7	0	7
計	延べ12日	56	24	80

学生：小・中・高校生 (単位：人)

【学校週五日制関連事業】

＜町内児童生徒に対する入館料減免＞

学校完全週五日制及び「総合学習」の導入に合わせ、穂別町内児童生徒並びに引率者については無料観覧とした。(学芸対応分を除く)

[平成15年度 町内児童生徒の無料入館]

区分	児童生徒	引率	計
穂別小学校	299	6	305
富内小学校	4	1	5
仁和小学校	20	1	21
和泉小学校	10	0	10
稲里小学校	0	0	0
穂別中学校	5	0	5
仁和中学校	1	0	1
穂別高校	9	1	10
計	348	9	357

(のべ80日、単位：人)

Ⅳ 歳入

区分	有料入館者数	使用料	
一般	個人	4,181	1,254,300
	団体	622	124,400
	割引	3,952	699,700
学生	個人	1,690	169,000
	団体	594	29,700
	割引	1,672	62,950
使用料計	12,711	2,340,050	
諸収入	物品販売代	9,300	
	私用電話料	1,128	
合計		2,350,478	

(単位：人・円)

Ⅴ 歳出

費目	決算額
博物館施設管理経費	14,856,227
博物館協議会経費	43,320
生涯学習推進アドバイザー設置経費	2,004,201
博物館資料収集及び調査研究事業	108,249
博物館施設改修事業	0
博物館費合計	17,011,997

(単位：円)

VI 利用案内

【開館時間】

午前9時30分～午後4時30分

【休館日】

- ・毎週月曜日。
 - ・国民の祝日の翌日。ただし、その翌日が土曜日、日曜日及び月曜日にあたる場合は火曜日。
 - ・館内整理日。
 - ・12月31日～1月5日。
- *ただし、7、8月は休まず開館。

【観覧料】

	一般	*学生
個人	300円	100円
**団体	200円	50円
***割引	100円	無料

注：未就学児童は無料（要大人の付添い）

* 学生：小・中学生・高校生

** 団体：10人以上

***割引：地球体験館との共通利用割引

【減免】

「(穂別町立)博物館の展示場に入場しようとする者は、観覧料を納付しなければならない(穂別町立博物館設置条例、第6条)」が「(穂別町)教育委員会は、特別の理由があると認めたときは、観覧料を減免することができる(同条例、第7号)」。減免は、教育・研究・福祉を目的とし、以下に従う。

穂別町立博物館施行規則第6条条例第7条の規定による観覧料の減免は、次のとおりとする。

(教育目的)

1) 穂別町立小・中学校及び北海道穂別高等学校の児童生徒が教育を目的として入館する場合

(研究目的)

2) 国・地方公共団体及び学術研究機関の職員が調査・研究のため入館する場合

(福祉目的)

3) 老人福祉法(昭和38年法律第133号)第14条に規定する町内の老人福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合

4) 精神薄弱者福祉法(昭和35年法律第144号)第18条に規定する町内の精神薄弱者福祉施設が収容者の養護計画の実施のため入館する場合

(公益目的)

5) 前各号に定めるもののほか、公益上または教育振興上特に教育長が必要と認める場合

穂別町立博物館館報 第21号

平成15(2003)年度

発行 2004年7月

発行者 穂別町立博物館

〒054-0211

北海道勇払郡穂別町字穂別80番地の6

TEL/FAX (01454) 5-3141

<http://www.bekkoame.ne.jp/~hobemus/>

